

第3回「えんずい大会」開催記

えんずいところにスマッシュ実行委員会
大会統括 江戸 正人

8月10日は「卓球の日」「810（入れ）スマッシュ」と、勝手に命名した8月10日（土）午後2時から陸前高田市立第一中学校で「第3回えんずいところにスマッシュ!!ぴんぼーん大会」を開催しました。

過去2回は陸前高田市、大船渡市の両卓球協会のみなさまのご尽力のもと開催しておりましたが、今年は同じ日に大船渡市で日学連さん主催の卓球講習会が重なっており、陸前高田市協会と球遊会さんのご尽力を得ての開催になりました。

参加選手は総勢36名でしたが、うち初心者が23名と経験者よりも多くのご参加を得、このイベントのあるべき姿が見えてきた大会でもありました。すなわち、3年前に決めた大会理念である『東日本大震災で甚大な被害を蒙った被災地において、卓球講習会を開催し、少しでも元気を取り戻せる場あるいはストレスの解消や卓球を楽しめる場を提供することを理念とする。そして、この大会が小規模ながらも今後も継続していくことを目指します。』が、この大会のあるべき姿になります。

予選リーグから決勝トーナメントに至るよくある卓球大会の試合形式ではありましたが、勝ち負けではなくピンポンを楽しんで頂き、初心者向けにも講習会を併催するなど被災地のみなさまに少しでも元気になって頂こうという大会理念と、「祭り」の要素も盛り込んだ「ガリガリ君プリーズ」（前2回は「かき氷プリーズ」）を継続実施するなど、卓球大会とは一味違った卓球イベントとして無事に終了できました。

特に、このイベントにはご参加いただけてなくても、全国19名の方々から20万円もの義援金を頂きましたことと、加えて日本卓球㈱、ヤマト卓球㈱両協賛企業からは、大会用品、参加賞をはじめとする物的ご支援のほか、指導コーチとしても人材を現地に派遣頂き、営利ではなくCSRの一環としてご支援いただいたことで、資金難に陥ることもなく開催できましたことは、この大会の理念にご協力、ご協賛いただいたみなさまのお蔭と感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【開会式での集合写真】



【運命の組み合わせ抽選会！】

過去2大会を踏襲し、今回もすべては籤運頼み。初心者(向かって右列)と経験者(同左列)とが、それぞれ籤を引き、チーム編成が決まります。

全36名が籤で結ばれた3名1チーム(初心者2名+経験者1名)の全12チームが編成されました。これを3チームずつ4ブロックに分け、15時から予選リーグの戦端が切って落とされました。



【釜石市から7選手が参戦！】

釜石市には震災復興を担う、多くの企業が日夜、奮闘されています。当社もその一翼を担うべく現地に事務所を展開中。その事務所在籍者の1/3に当たる精鋭7名が参戦し、このイベントに花を添えてくれました。

写真は、予選リーグの様様

【最強の第3ブロック】

予選リーグ全4ブロックのうち、最も過酷だったのが第3ブロック。写真の釜高チーム(右奥)対ハムチーム(左手前)は、決勝戦も争うことに。。。

釜石から参戦の同僚同士が、敵味方に分かれての予選と決勝。凱歌は、「釜高」チームに上がりました。チーム名の由来は釜石の「釜」と陸前高田の「高」いやはや、筋書きの無いドラマ in 高田一中体育館。



[戦績]

第3回えんずいところスマッシュぴんぼーん大会 予選リーグ戦績

予選リーグ第1ブロック							
選手名 / チーム名	①研究所タカタ	②ピンポン	③まさこ	勝敗数	得セット数	失セット数	順位
①(岡田、大橋、佐藤)	※※※※	2-1	2-1	2勝0敗			1
②(熊谷、志村、浪岡)	1-2	※※※※	1-2	0勝2敗			3
③(佐々木、小松、松田)	1-2	2-1	※※※※	1勝1敗			2

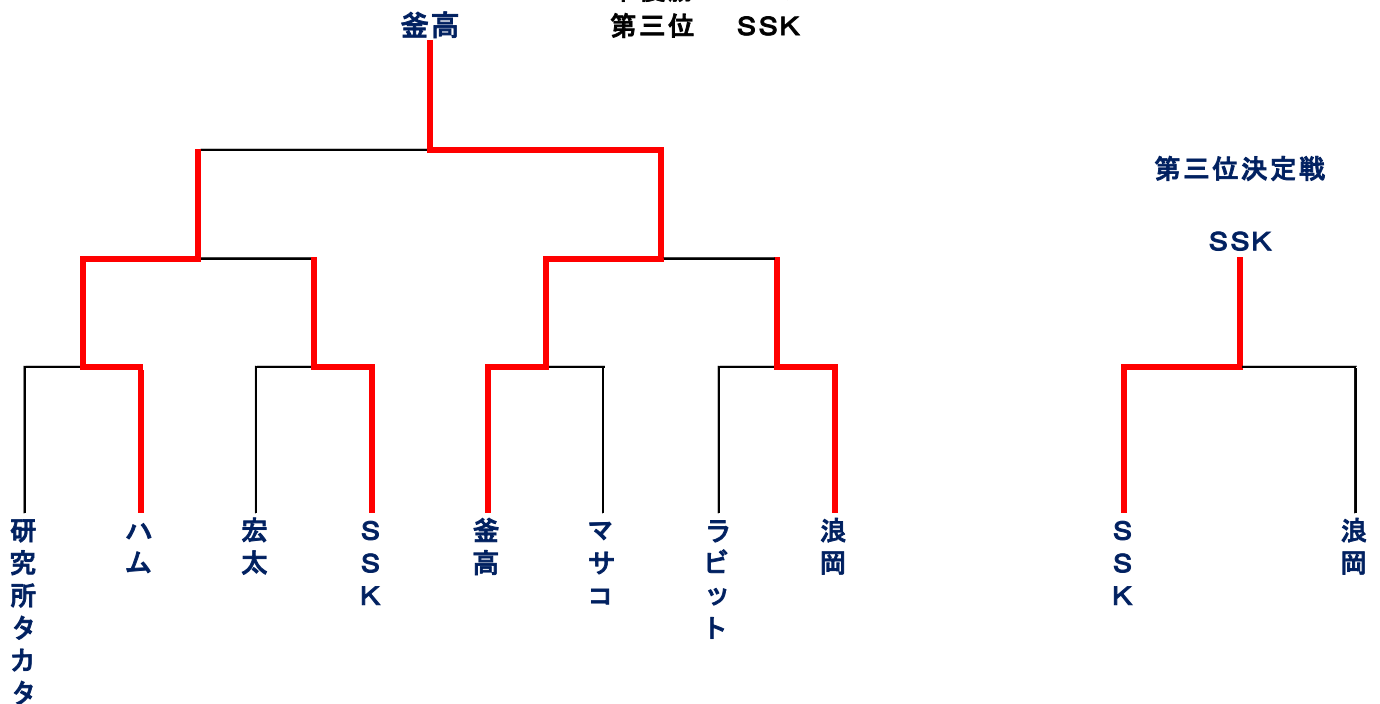
予選リーグ第2ブロック							
チーム名 / Entry No.	①宏太	②浪岡	③後藤	勝敗数	得セット数	失セット数	順位
①(米澤、松田、熊谷)	※※※※	1-2	2-0	1勝1敗			2
②(清水、柴田、浪岡)	2-1	※※※※	2-1	2勝0敗			1
③(後藤、菊池、菅野)	0-2	1-2	※※※※	0勝2敗			3

予選リーグ第3ブロック							
チーム名 / Entry No.	①ゴールド	②ハム	③釜高	勝敗数	得セット数	失セット数	順位
①(金、石津、小沢)	※※※※	0-2	0-2	0勝2敗			3
②(中川、平田、熊谷)	2-0	※※※※	1-2	1勝1敗			2
③(服部、細川、佐々木)	2-0	2-1	※※※※	2勝0敗			1

予選リーグ第4ブロック							
チーム名 / Entry No.	①SSK	②ラビット	③ヨコハマ	勝敗数	得セット数	失セット数	順位
①(及川、吉田、菅野)	※※※※	1-2	2-0	1勝1敗	3	2	1
②(浪岡、松本、村上)	2-1	※※※※	1-2	1勝1敗	3	3	2
③(嶋村、菅野、松野)	0-2	2-1	※※※※	1勝1敗	2	3	3

決勝トーナメント

優勝 釜高
準優勝 ハム
第三位 SSK



ラリー&スマッシュ

初心者も多数 楽しく「びんぼーん大会」

陸前高田



陸前高田市の高田一中体育館で10日、第3回えんずいところにスマッシュ！びんぼーん大会」が開催された。経験者も初心者も入り

平成23年8月、甚大な津波被害をこうむっ

た気仙において「ストレス解消と交流の場を提供しよう」と始められた大会。実行委員会が主催し、同市卓球協会が主管、日本卓球協会とヤマト卓球倶が協賛した。

今大会には気仙地区や釜石市などから37人が参加。ランダムに3人1組のチームを結成し、リーグ戦とトーナメント形式で試合を行った。初心者と経験者が対戦する場合はハンディも与えられ、初心者が勝つケースも。シングルとダブルスでいずれも熱戦が展開された。

巧拙は関係なく、純粹に競技を楽しんだ参加者たち 高田一中

チーム内はほとんどが初対面の人同士。また、参加者のうち20人以上が卓球未経験者ながら、互いに教え合ったり応援するうちに打ち解け、笑い声をあげながら競技を楽しんだ。

2年前から卓球を始めたという広田町の女性(63)は「見知らぬ人とも和気あいあい、楽しく競技できた。勝ち負け関係なく、こうしてコミュニケーションがとれる大会があるのは良いこと。これからも年に1回続けてほしい」と汗をぬぐった。

大会統括責任者で同市出身の江戸正人さん(51) 千葉県在住は、「試合を通じてみんな仲良くなれるのが魅力。もっともっと大勢の人が気軽に参加できるよう、来年以降は商店街などを会場とする案も考えている」と話していた。

● 収支決算報告

1.収入の部 239,675 円

前回からの繰越金	41,675
三県以外からの参加費	2,000
義援金	196,000

2.支出の部 193,123 円

傷害保険料	8,050
大会賞品	33,725
ガリガリ君、PET 水	16,700
事務用品	3,743
通信・運搬費	9,155
大会記録作成	10,000
事務局弁当	15,000
協会、球遊会等へ謝金	60,000
お礼の品	36,750

次回への繰越金 46,552 円

繰越金は、地元協会と用途を協議中。大会スタッフ用 T シャツ作成に充当等の意見あり。

● とりあえずの結び

第3回大会となる今大会の翌日、8月11日は「3.11」から2年5カ月となる月命日でした。我が両親が大津波の犠牲になり、この日を法要する日としてから早や3回忌となりました。街中には喪服の姿も多くみられ、東日本の太平洋岸では3回忌法要を営まれた方々が少なくなかったと思います。

未曾有の大災害を期に、「お卓」仲間から背中を押されてはじめてイベントですが、3回目を迎え、やっと大会理念に近づくことができるようになったと、ご支援頂いたみなさまに先ず、感謝いたします。本当にありがとうございました。

大会理念

『東日本大震災で甚大な被害を蒙った被災地において、卓球講習会を開催し、少しでも元気を取り戻せる場あるいはストレスの解消や卓球を楽しめる場を提供することを理念とする。そして、この大会が小規模ながらも今後も継続していくことを目指します。』

参加選手36名の2/3が初心者であり、そのうち60代1名、70代3名で、しかも仮設住宅での暮らしを余儀なくされている方々が、笑って卓球を愉しんで頂ける場を提供すること。今後も、このスタイルで運営していきたいと思えます。

今回も、地元陸前高田市卓球協会のみなさま、球遊会のみなさまには大変なご尽力を頂きました。また、日本卓球(株)、ヤマト卓球(株)両社にも素晴らしいサポートを頂きました。そして、義援金をご提供頂きました全国19名のみなさま、ご支援に本当に感謝いたします。